

スズの常温黒染剤

マイテック 1795

マイテック 1795は、常温浸漬で処理するスズの黒化処理剤で、スズのほか、鉛、スズ、鉛合金も処理できます。

濃縮液ですから水でうすめて使用しますが、うすめる倍率と浸漬時間は金属表面の状態や希望する黒さにより異なりますので、使用にあたって、基準濃度の原液1に対して水3の水溶液をつくり、その中にテスト片を基準浸漬時間1～2分浸漬したうえで結果をみて、処理する金属部品に最も適した濃度と浸漬時間を決めてください。

濃度と浸漬時間は、相関関係があります。

設 備

耐酸性のタンク、回転バレル、カゴ、ラックをマイテック 1795水溶液に使用します。プラスチック、プラスチックライニング、ゴムライニング、ほうろうが適しています。脱脂、水洗、シール用には、鉄またはステンレス製のものをご使用ください。

処理の手順

1. デグリースAを用いて完全に脱脂します。
2. 十分に水洗します。
3. サビ、腐食があれば、AA-200を用いて除去します。
(なければ、この工程とつぎの水洗は省略します。)
4. 水洗します。
5. 処理する部品をマイテック1795水溶液に、希望の黒さになるまで浸漬します。
6. 水またはお湯で、十分にすすぎ洗いして、強制乾燥します。
7. アンティークカラーや「ぼかし」をするときは、パフイング、ブラッシング、バレル、回転ブラッシで仕上げます。
8. 色調を強め、防錆力をつけるために、ワックスかクリアラッカーのコーティングをします。

水溶液の再生

水溶液は使用に従って疲労してゆきますが、マイテック1795原液をときどき追加することにより、再生することができます。

水溶液の疲労状態は、おなじ黒さにするまでの浸漬時間の変化によって知ることができます。最初の浸漬時間をメモしておき、必要とする浸漬時間が長くなりましたら、原液をつぎたして、もとに戻すようにしてください。

一度に沢山の原液を追加するのではなく、少しずつ補充するようにしてください。

(裏面につづきます)

継続使用の要領

マイテック1795水溶液を継続して使用していると、白いスラッジが発生し、液が濁ってきます。このスラッジは、黒化処理を妨げることはありませんが、あまりたまりますと、作業がしにくくなりますので、除去してください。

ひとばん放置しますと、スラッジは槽の底に沈殿しますので、上澄みを別のポリタンクに移してスラッジを除去してから、上澄みをもとに戻し、原液を加えて濃度を調整した後、使用を再開します。

このようにして使用をつづけますと、廃液はできません。

廃液の処理

廃液を処理するときは、水溶液を水で5倍に希釈して、ソーダ灰などアルカリを投入して中和、スラッジを沈殿させて、上澄みは放流、スラッジは重金属として処理します。

【使用、保管上の注意】

- マイテック1795は、強酸ですので、原液、水溶液が目や口にはいたり、皮膚につかないよう、注意してお取扱いください。
- 作業するときは、目覆い、ゴム手袋、ゴムエプロンをつけてください。
- 皮膚についたときは、15分以上水洗いして、医師にかかってください。

■ 荷 姿 ■

1 ガロン（約4ℓ）ポリ容器入り。18ℓアトロン缶入り。

株式会社 オーデック